

# 若事研広報

ミニ!

編集・発行

岩手県公立小中学校  
事務職員研究協議会  
総務部  
平成30年12月25日

平成30年10月11日(木)12日(金)に宮城県名取市文化会館で、第22回東北地区公立小中学校事務研究大会宮城大会が開催されました。

第2分科会では、洋野町立中野中学校主事 菊地宏樹さんと盛岡市立城北小学校主事 佐々木瑠衣さんが実践を発表しました。



東北地区公立小中学校事務研究大会

第2分科会

その先へ、つなげたい。いせまるために、

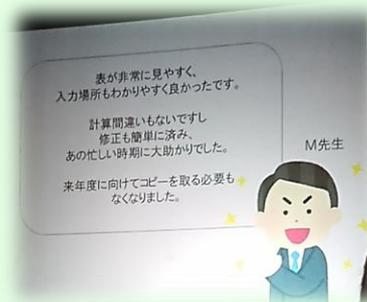
## 研究提案概要

ジョブローテーションにより県立学校から小中学校へ、新採用のような気持ちで着任。着任早々に、学校教育法の改正により事務職員の職務が「事務をつかさどる」と改正。経験の浅い事務職員は、慣れない業務で締め切りに追われる中で、「事務をつかさどることができるのか」という不安と「何かを変えていかなければならない」という焦りを感じているのでは？

今回の実践は、異校種経験を生かして自分なりに一歩前へ踏み出してみたもの。皆さんと内容を共有することでその不安と焦りから少しでも先へ進めるきっかけとなればと考えている。

## 菊地宏樹さんの実践

中学校に着任して一番驚いた年末調整申告書類を手書きしている件についての取組。県立学校ではPC入力で済むため困惑することが多々あった。また、職員も保険料控除申告書への細かい記入や複雑な計算で誤りが多く戸惑っている様子が見えたため、PCへの入力だけで済ませられるようにエクセルファイルを作成。実際に使用した職員全員から「負担が減った」「とても便利」等の感想が寄せられた。



## 佐々木瑠衣さんの実践

勤務校の電気使用料金が市内の他の学校と比べて多いことに気づき、現状を何とかするべく、削減に向けての取組。電気使用料金の「見える化」として、職員会議で前年度と現在のデータのグラフと市内ランキングを発表し、前年度より使用料金を抑えられるように呼びかけ。これにより職員も児童に対して電気を節約するように指導。職員や児童の協力で電気使用料金・使用量が減少したことを知らせると、「結果が目に見えるのは良い」等の感想が寄せられた。

Q. 今回、研究実践するうえで嬉しかったこと、良かったことはありますか？

菊

保険料控除申告書のエクセルファイル作成の実践を進める上で、先生方に使ってもらった感想を聞いた時に「労力が軽減した」と感謝されたことです。今年度は、申告書の様式の変更があったり、エクセルファイルの配布があったりしたので、昨年作ったものは使えなくなってしまいましたが、ある先生が「エクセルでできるのは楽だね」と言ってもらえたので、昨年の取組は間違っていなかったと実感できました。

佐

研究大会で発表する機会がなければ、「つかさどる」についてこれほど深く考えることはなかったと思います。研究推進委員のみなさんや、担当としてご指導いただいた菊池和子さん、一緒に発表した菊地宏樹さんと話す中で、考えを深めていくことができ、嬉しく感じます。

「つかさどる」と聞くと、何か難しいことを始めなければいけないような感覚になりますが、普段の業務から派生してできることだと実感することができました。

Q. 研究実践するうえで大変だったことはありますか？

菊

今回の発表では、“つかさどる”にせまるキーワードを「主体的に取り組むこと」として実践を行いました。その中で、自分で考え、提案していく難しさを感じました。もともと、プレゼンテーション的なことは得意ではないので、自分の考えや、やってほしいことを相手に伝えることが大変でした。

佐

これが正解というものが決まっていないので、考えれば考えるほど悩みました。「これは従事する？」「これはつかさどる？」とぐるぐるループにはまりました。ただ、それを1人で考えるだけでなく、いろいろな方と話し合うことができたので、発表の際には自信をもつことができました。

Q. 今後の目標や挑戦してみたいことを教えてください。

菊

今年度の取組として、先生や保護者からも要望があった学年集金の口座振替の導入を進めてきました。そして、先月（10月）から無事に導入できました。まだ学年会計担当の先生とのやり取り等、一連の流れがスムーズでないところもあるので、そこをスムーズにすることが、今の目標です。

佐

個人的なイメージとして、ジョブローテーションで異動しているからには、小中高県教委事務局間の橋渡しのような役目があるのではと思っています。現在でも交流する場面はありますが、各所でそれぞれの現場の声を少しでも届ける役目を担えたらいいのかなと思います。

Q. 最後に若手の事務職員さんへメッセージをお願いします！

菊

私は、気が付いたことをそのままにしないこと、今できることをまずやってみることが大切だと考えています。そして、うまくいかない時には周りに経験豊富な先輩方がいるので、相談すればきっといいアドバイスをもらえます。積極的にどんどん行動してください！課題を見つけ、取組を考え進めていく際、それがどれだけいい取組であっても先生方に使ってもらえなければ意味がない時もあるので、そうした時に協力してくれる先生を見つけるおくことが大切だと思いました。普段からのコミュニケーションもとても大事だと思います。

佐

誰にでも向き不向きはあると思いますが、「まずはやってみる！」を意識してみると、自分の幅が広がると思います。そして、できればやってみたことや、やってみようと思っていることを、同期でも共同実施内でも、話しやすい先生にでも、誰かと共有することも大切ではないかなと感じています。後押ししてくれたり、アドバイスをくれたり、良い刺激を受けられると思います。

## ☆編集後記☆

会員みなさんに、会員相互の交流のため、より身近な話題をお届けしたくミニ広報を発行しました。今回は若手事務職員の活躍をとりあげ、第22回東北地区公立小中学校事務研究大会で研究実践を発表されたお二人のインタビューをご紹介します。

私自身も若手の事務職員の一員として、何か行動に起こせるものはないかと考える良い機会になりました。インタビューにご協力いただいた菊地さん、佐々木さん、本当にありがとうございました。